

# 授業充実に向けて

# <算数・数学科>

県北教育事務所

## 新学習指導要領を踏まえて

- 基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させる観点から、発達や学年の段階に応じたスパイラルによる教育課程を編成することが求められています。
- 算数的活動・数学的活動を生かした指導を一層充実させる観点から、言語活動や体験活動を重視した指導計画になるように工夫することが大切です。
- 数学的な思考力・表現力を育成するために、言葉、数、式、図、表、グラフなどを用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し、伝え合ったりする活動などを取り入れます。

## 「学び合いの充実」と「学びの習慣づくりの充実」のために

- 学び合いの充実のためには、知識及び技能を活用して課題を解決する力を育成し、学ぶことの楽しさや意義を実感できるよう、数や図形の性質などを見いだす活動、算数・数学を利用する活動などの算数的活動・数学的活動の充実を図り、言葉、数、式、図、表、グラフなどを用いた言語活動を充実させることが大切です。
- 学びの習慣づくりの充実のためには、身に付けた知識及び技能を生活や学習に活用する機会を設け、学ぶことの意義や有用性を実感できるように指導計画を工夫することが大切です。

## 教材研究を深める！

学習指導要領及び解説さらには教科書を読み深め、十分教材分析をした上で、単元の目標や内容をしっかり押さえることが大切です。

児童生徒の実態を把握し、学ぶ意欲を高めることを前提にして、目標を達成するためには、どんな算数的活動・数学的活動が適切かを学習指導要領解説を参考にして、指導計画を立てるようにしましょう。

## 知識及び技能の確かな定着

知識及び技能を習得するには、児童生徒自らが既習事項を活用し、探究的に学んでいくことが有効です。さらに獲得した知識及び技能を発展的に活用していくことは知識及び技能の定着のために効果的です。

算数・数学の内容は、記号と約束で成り立っています。ですから、それらを理解するには、練習も大切です。適宜練習等の機会を設け、児童生徒が意欲をもって取り組めるよう工夫したいものです。

全国学力・学習状況調査や定着確認シートの問題などを繰り返し活用するのも一つの方法です。

「学力向上」と  
「授業の充実」  
のために

## 評価を適切に！

児童生徒の学習の状況を、単元全体を通じ、また授業の節々で計画的に見取ることが大切です。学習の結果だけでなく、学習の前や学習過程も重視し、四つの観点に基づき的確に把握、分析しましょう。そして、その結果を指導に生かすようにしましょう。評価の方法は、めざす児童生徒像（目標）に照らせば、見えてきます。

## 真の「学び合い」へ！

「学び合い」は「単なる意見の交換」ではありません。児童生徒一人一人の思考の共有と吟味がなされなければなりません。そのためには、言葉、数、式、図、表、グラフなどを用いた言語活動が展開されるようにすることが大切です。すると、児童生徒の思考力や表現力が高まることにつながります。

## 望ましい学習習慣をつくる

児童生徒が楽しく意欲的に学習に取り組むその基盤には、望ましい学級集団づくりがあります。特に、算数・数学の特質から、能率的なものや美しいものを認め、高め合う学級集団づくりが望まれます。間違いを冷やかさないといった小さなことからあげていきましょう。

基礎的・基本的な知識・技能の習得には、繰り返し練習することも大切です。そのためには、家庭とよりよい連携を築き、児童生徒の発達段階に応じ、家庭学習で、何を、どのように、どれくらいさせるのかなどを具体的に示したいものです。また、家庭での学習を授業に結びつける工夫も考えましょう。